

## 第61回 経営協議会 議事要録

日 時 平成29年6月29日（木）14時30分～16時00分

場 所 事務局第二会議室

出席者 澤 和樹 学長、門岡裕一 理事  
日比野克彦 美術学部長、迫 昭嘉 音楽学部長  
桐山孝司 大学院映像研究科長、熊倉純子 大学院国際芸術創造研究科長

中村胤夫 委員、遠山敦子 委員、福井俊彦 委員  
高階秀爾 委員、滝 久雄 委員、谷口維紹 委員

陪 席 監事：梅崎 壽 幹事

安良岡章夫 理事、保科豊巳 理事  
光井 涉 副学長、岡本美津子 副学長  
宮廻正明 社会連携センター長 [学長特命（産学連携担当）]  
佐野 靖 学長特命（地域連携・大学連携担当）]  
北郷 悟 学長特別補佐（上野文化の杜担当）  
松下 計 附属図書館長、秋元雄史 大学美術館長

欠席者 石田義雄 委員  
国谷裕子 理事、松下 功 副学長、金井 満 監事

○ 議長から審議に先立ち、経営協議会の新たな陪席者等の紹介があり、引き続き門岡理事から事務系幹部職員の異動について報告があった。

### 議題

1. 平成28事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）について  
議長から標記のことについて提案があり、門岡理事から資料に基づき説明の後、審議の結果、原案どおり承認された。
2. 大学機関別認証評価自己評価書（案）について  
議長から標記のことについて提案があり、門岡理事から資料に基づき説明の後、審議の結果、原案どおり承認された。
3. 平成28年度財務諸表（案）について  
議長から標記のことについて提案があり、門岡理事から資料に基づき説明の後、審議の結果、原案どおり承認された。

### 報告及び連絡事項

1. 第2期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価の結果について  
門岡理事から資料に基づき報告があった。

2. 平成30年度国立大学法人施設整備費概算要求について  
門岡理事から資料に基づき報告があった。

3. その他

- 澤学長から本学の授業料見直しに関する報告があった。
- 本学の取組について
  - ・ 澤学長から、藝術文化における本学の近況について報告があった。
    - 平成29年3月26日 早期教育プロジェクト in 仙台 ピアノ部門
    - 平成29年6月18日～19日 早期教育プロジェクト in 飛騨高山 管打楽器部門
    - 平成29年4月6日～ 「東京藝大×クラウドファンディング」がスタート
    - 平成29年4月18日～ 本学COI拠点主催「Study of BABEL」展
    - 平成29年5月24日 取手市・東日本旅客鉄道・アトレと取手地区の地域発展に向けた連絡協定を締結
    - 平成29年6月7日～ ワーナーミュージック・ジャパンとの連携による若手音楽のキャリア支援の開始
    - 平成29年6月9日 東京藝術大学130周年記念事業プレス発表会を開催
    - 平成29年6月11日,18日 テレビ朝日「題名のない音楽会」にて2週にわたる本学特集
    - 平成29年6月12日 平成29年度全国発明表彰「21世紀発明奨励賞」受賞
    - 平成29年6月16日 「2074、夢の世界」展授賞式開催(主催:本学、コルベール委員会)
    - 平成29年6月23日 藝大フィルハーモニア管弦楽団チリ公演
- 日比野美術学部長から、「パリボザール及びロンドン大学ユニット記録集」、「Divirity on the Arts Project」、「Rever2074」、「日比野克彦とブラジルでTURNした39日間」、「大エジプト博物館合同保存修復プロジェクト」について、資料に基づき報告があった
- 桐山大学院映像研究科長から、「映画専攻作品集(DVD)」、「OPEN STUDIO2017」、「Global Networking Project2016」「東京藝術大学ゲーム学科(仮)展」について、資料に基づき報告があった。
- 熊倉大学院国際芸術創造研究科長から、「グローバル時代のアートプロジェクトを担うマネジメント人材育成事業」について、資料に基づき報告があった。
- 北郷学長特別補佐から、上野「文化の杜」新構想実行委員会概要(Profile)と平成29年度スケジュール案について、資料に基づき報告があった。
- 秋元大学美術館長から、「藝「大」コレクション -パンドラの箱が開いた-」について、資料に基づき報告があった

その他:(ご助言、ご提言等)

- 中期目標の結果について各大学の中でもトップクラスということは大変素晴らしいことである。脚光を浴びなかった部門もこれを機会に励みとして頑張っていただきたい。
- 藝大は目を見張るくらいの活動(特に海外)が行われている。これからも日本の国立大学を牽引していただきたい。
- 藝大130周年を契機に毎年、海外から芸術家や教授が来て、魅力を求めて一緒に企画からコラボレート、ディベロップするようなイベントが出来ると藝大の良さがでるのではないかと。
- 藝大がリーダーシップをとっていることを再発見することができた。
- 学長が言われる「文化力・芸術力こそが国の力の源」という言葉に賛同する。
- 藝大の持つ理念・ビジョンを検討願いたい。